第2回県民モニターアンケート「受動喫煙対策について」の調査結果

第2回県民モニターアンケート調査「受動喫煙対策について」の調査結果をとりまとめました。アンケート結果は、今後の受動喫煙対策に関する施策の検討に活用します。

1 調査概要

(1) 調査テーマ:受動喫煙対策について

(2) 調査対象者: 県民モニター2,407人

(3) 調査期間:令和5年7月7日(金)

~7月17日(月)[11日間]

(4) 調査方法:県ホームページ上のアンケート

フォームに入力

(5) 回答者数:1,779人(回答率73.9%)

		対象者	回答者	回答率
総数		2, 407	1,779	73. 9%
性別	男 性	1,063	815	76. 7%
	女 性	1, 339	960	71. 7%
	不 明	5	4	80.0%
年代別	10~20代	86	46	53.5%
	30代	237	144	60.8%
	40代	433	294	67. 9%
	50代	531	398	75.0%
	60代	537	430	80.1%
	70 代以上	583	467	80.1%

2 調査結果の概要

項目

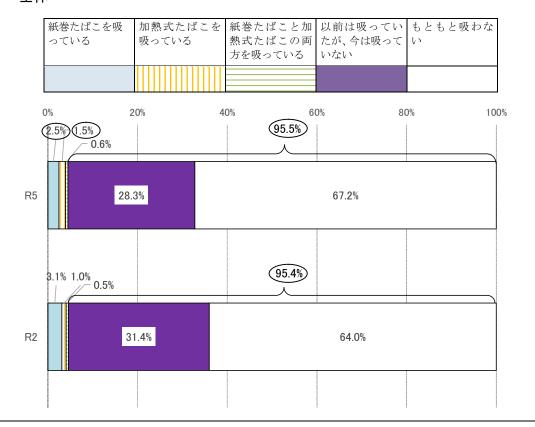
喫煙状況

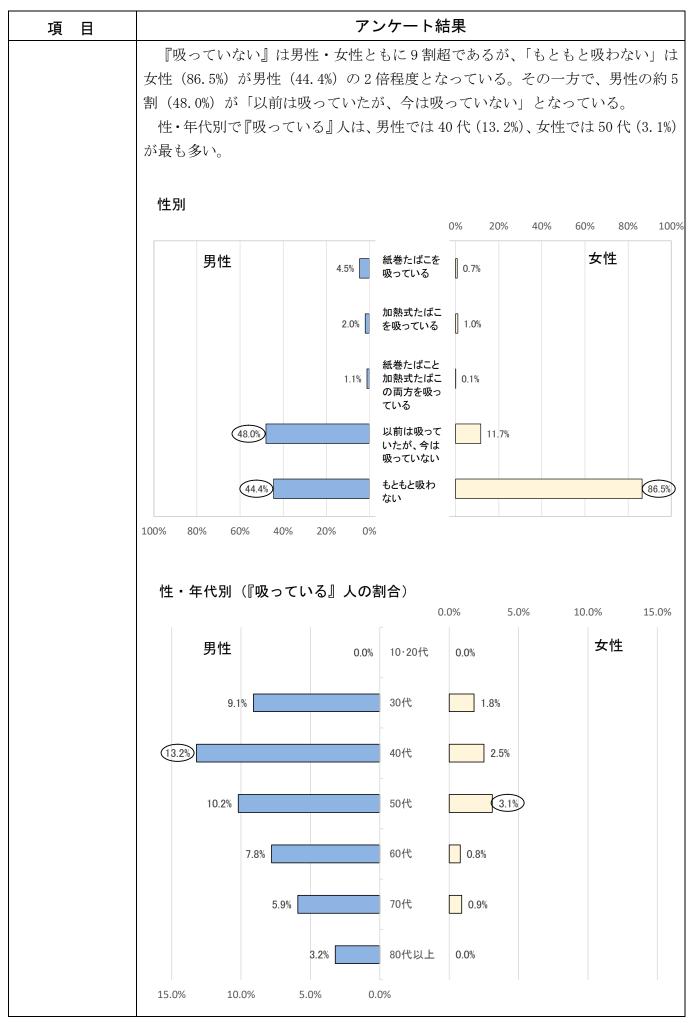
Q1 あなたは、たば こを吸いますか。 (1つ選択)

アンケート結果

「以前は吸っていたが、今は吸っていない」と「もともと吸わない」を合わせた『吸っていない』は 95.5%で前回調査時(95.4%)と同程度であった。『吸っている』人は「紙巻たばこ(2.5%)」の方が「加熱式たばこ(1.5%)」より多い。

全体





改正受動喫煙防 止条例施行後の 状況

Q2 あなたは、この 1 ヶ月間に受動喫煙の被害にあいましたか。(1つ選択)

※受動喫煙とは、他 人のたばこの煙を 吸わされることを いいます。

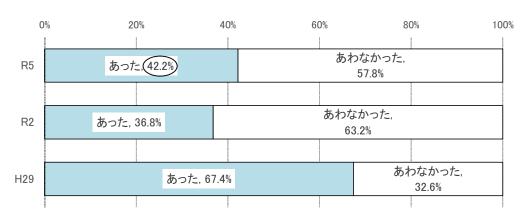
Q3 どのような場所 で受動喫煙にあい ましたか。(いくつ でも選択可)

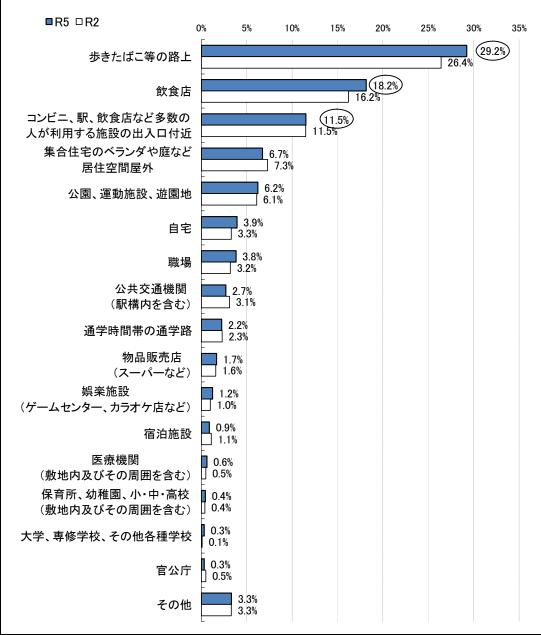
※[Q2]で「あった」と回答した人751 人(42.2%)に質問。

アンケート結果

受動喫煙に「あった」人は前々回調査時と比較すると減少しているものの、前回調査時からは5.4ポイント増加し、42.2%となっている。

受動喫煙にあった場所は、「歩きたばこ等の路上(29.2%)」が最も多く、前回調査時より 2.8 ポイント増加している。次いで「飲食店(18.2%)」、「コンビニ等多数の人が利用する施設の出入口付近(11.5%)」が続いている。





喫煙による健康 への影響

Q4 喫煙により、健 康にどのような影 響があると思いま すか。(いくつでも 選択可)

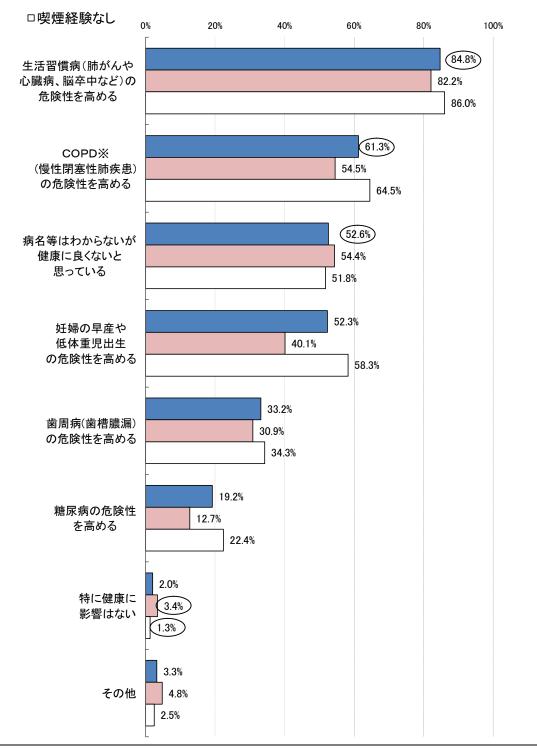
アンケート結果

「生活習慣病の危険性を高める (84.8%)」が最も多く、次いで「COPD の危険性を高める (61.3%)」、「病名等はわからないが健康に良くないと思っている (52.6%)」が続いている。

喫煙経験のない(もともと吸わない)人は「病名等はわからないが健康に良くないと思っている」を除き、喫煙経験のある人(紙巻たばこ・加熱式たばこのどちらか又は両方を吸っている、もしくは、以前は吸っていたが今は吸っていない人)より健康への影響を意識している人が多い。また、「特に健康に影響はない」は喫煙経験あり(3.4%)が喫煙経験なし(1.3%)の2.5倍超となっている。

■全体

□喫煙経験あり



アンケート結果

受動喫煙による 健康への影響

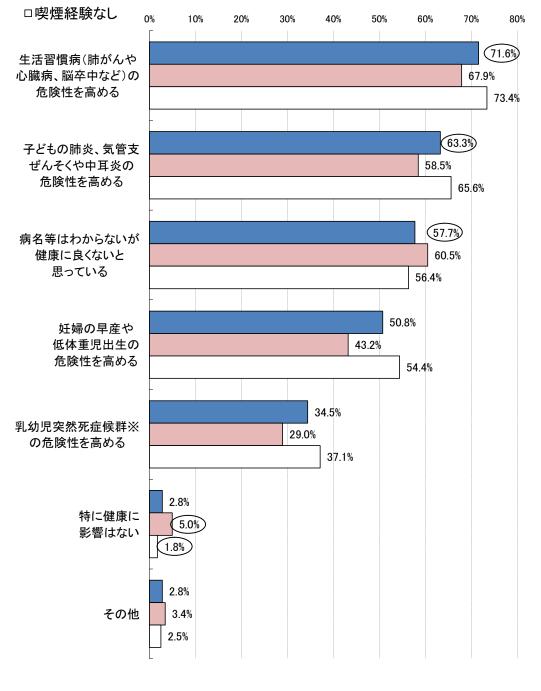
Q5 受動喫煙により、健康にどのような影響があると思いますか。(いくつでも選択可)

※乳幼児突然死症候 群:何の予兆や既 往歴もないままる 幼児が死に至る原 因不明の病気のこ と。窒息などの事 故とは異なる。 喫煙による健康への影響と同様、「生活習慣病の危険性を高める(71.6%)」が最も多い。次いで「子どもの肺炎、気管支ぜんそくや中耳炎の危険性を高める(63.3%)」、「病名等はわからないが健康に良くないと思っている(57.7%)」が続いている。

喫煙経験のない人は「病名等はわからないが健康に良くないと思っている」を除き、喫煙経験のある人より受動喫煙による健康への影響を意識している人が多い。また、受動喫煙においても「特に健康に影響はない」は喫煙経験あり(5.0%)が喫煙経験なし(1.8%)の2.5倍超となっている。

■全体





加熱式たばこの 健康への影響

Q6 近年、日本で利 用が増加している 加熱式たばこに関 し、健康影響につい て、どのように思い ますか。(1つ選択)

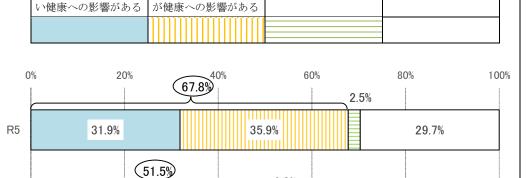
アンケート結果

「紙巻たばこと同じくらい健康への影響がある」と「紙巻たばこより少ないが健康への影響がある」を合わせた『影響がある』は前回調査時 (51.5%) より 16.3 ポイント増加し、67.8%となっている。

全体

紙巻たばこと同じくら

24.6%



2.0%

26.9%

紙巻たばこより少ない 健康への影響はない

わからない

46.6%

喫煙の状況別

R2



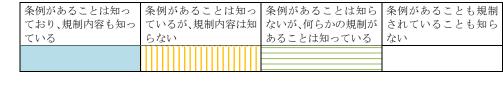
受動喫煙防止条 例の認知度

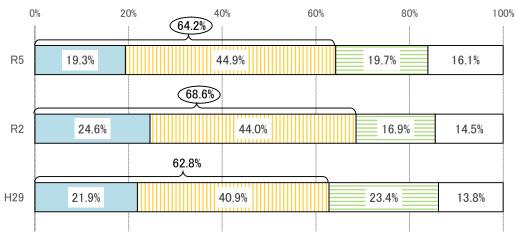
アンケート結果

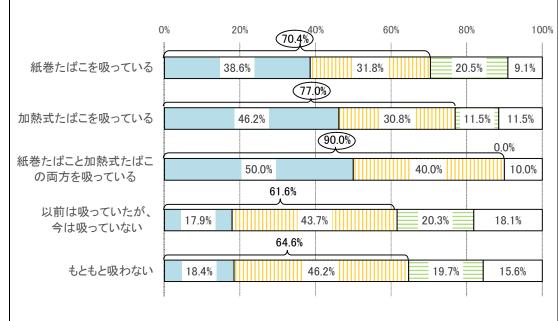
『条例があることを知っている』人の割合は、前回調査時(68.6%)より 4.4 ポイント減少し、64.2%となっている。

喫煙の状況別では、『条例があることを知っている』人の割合は、吸っている人 (「紙巻たばこを吸っている (70.4%)」、「加熱式たばこを吸っている (77.0%)」、「紙巻たばこと加熱式たばこの両方を吸っている (90.0%)」) の方が吸っていない人よ り高くなっている。

全体







受動喫煙防止条 例の規制内容の 認知度

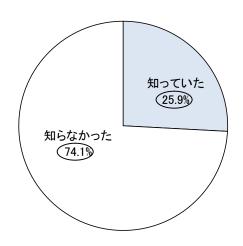
Q8 20歳未満の者お よび妊婦の者と同 室(同乗)する居室 内(車内)での喫煙 が条例で禁止され ていることを知っ ていましたか。 (1つ選択)

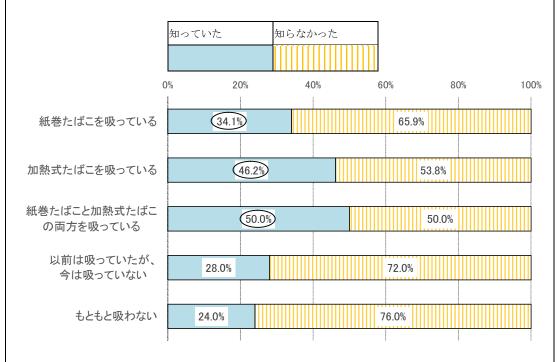
アンケート結果

「知っていた」は25.9%と「知らなかった」の74.1%を大きく下回った。

喫煙の状況別では、「知っていた」人の割合は、吸っている人(「紙巻たばこを吸っている(34.1%)」、「加熱式たばこを吸っている(46.2%)」、「紙巻たばこと加熱式たばこの両方を吸っている(50.0%)」)の方が吸っていない人より高くなっている。

全体





加熱式たばこ規 制の認知度

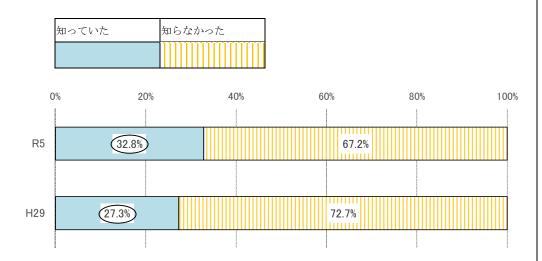
Q9 加熱式たばこも、条例で規制されていることを知っていましたか。 (1つ選択)

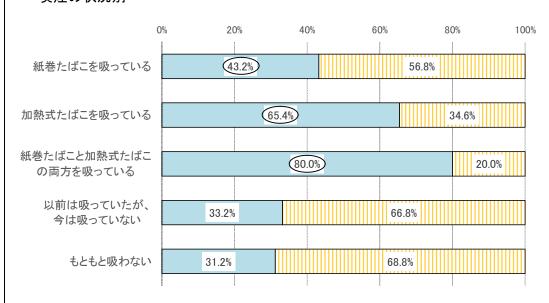
アンケート結果

「知っていた」は前回調査時(27.3%)より 5.5 ポイント増加し、32.8%となっている。

喫煙の状況別では、「知っていた」人の割合は、吸っている人(「紙巻たばこを吸っている(43.2%)」、「加熱式たばこを吸っている(65.4%)」、「紙巻たばこと加熱式たばこの両方を吸っている(80.0%)」)の方が高くなっている。特に、「加熱式たばこを吸っている」と「紙巻たばこと加熱式たばこの両方を吸っている」人の「知っている」人の割合は、吸っていない人(「以前は吸っていたが、今は吸っていない」、「もともと吸わない」)の2倍程度高い。

全体





喫煙環境表示の 参考度

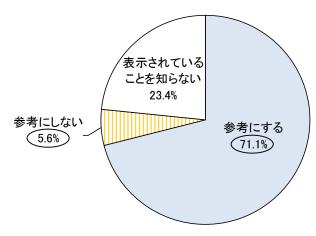
Q10 あなたは飲食 店を選ぶ時に、入 り口付近などのス テッカー等による 喫煙環境(禁煙、 喫煙区域等)の表 示を参考にします か。(1つ選択)

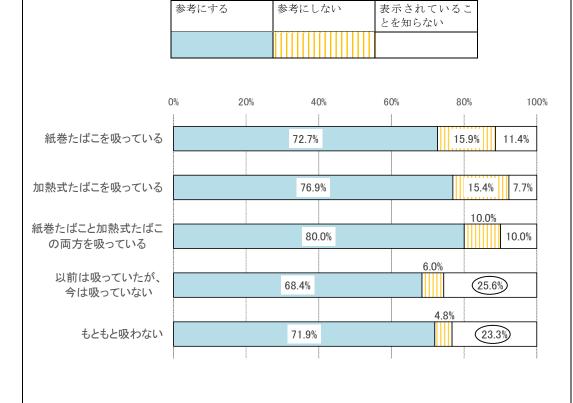
アンケート結果

「参考にする (71.1%)」が最も多く、7 割を占めている。「参考にしない」はわずか 5.6%に留まった。

喫煙の状況別では、「表示されていることを知らない」人の割合は、吸っていない人(「以前は吸っていたが、今は吸っていない(25.6%)」、「もともと吸わない(23.3%)」の方が吸っている人より高くなっている。

全体





たばこによる健 康被害や受動喫 煙防止の教育の 履修状況

Q11 あなたは学校 等に在学中、たば この健康被害や受 動喫煙防止に関す る教育を受けたこ とがありますか。 (1つ選択)

Q12 あなたが学校 等に在学中、たば この健康被害や受 動喫煙防止に関す る教育を受けたの はいつ頃ですか。 (いくつでも選択 可)

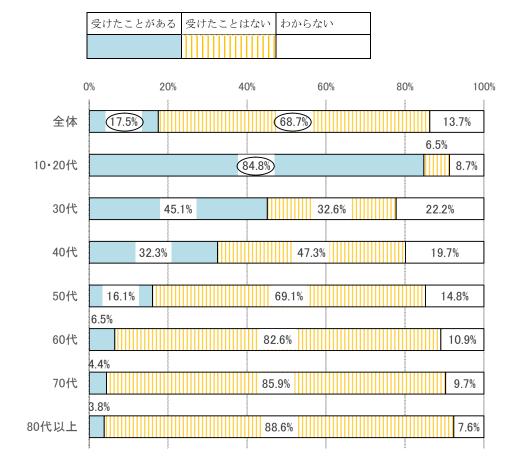
※[Q11]で「受けた ことがある」と 回答した人 312人(17.5%) に質問。

アンケート結果

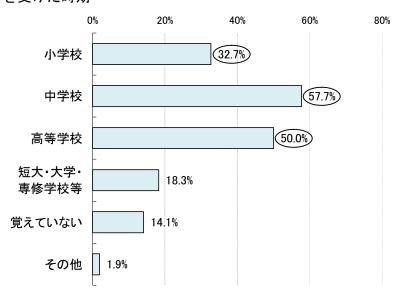
「受けたことがある」は 17.5%と「受けたことはない (68.7%)」を下回っているが、年代別では年代が若い程、「受けたことがある」人の割合は高くなっており、10・20代では 84.8%となっている。

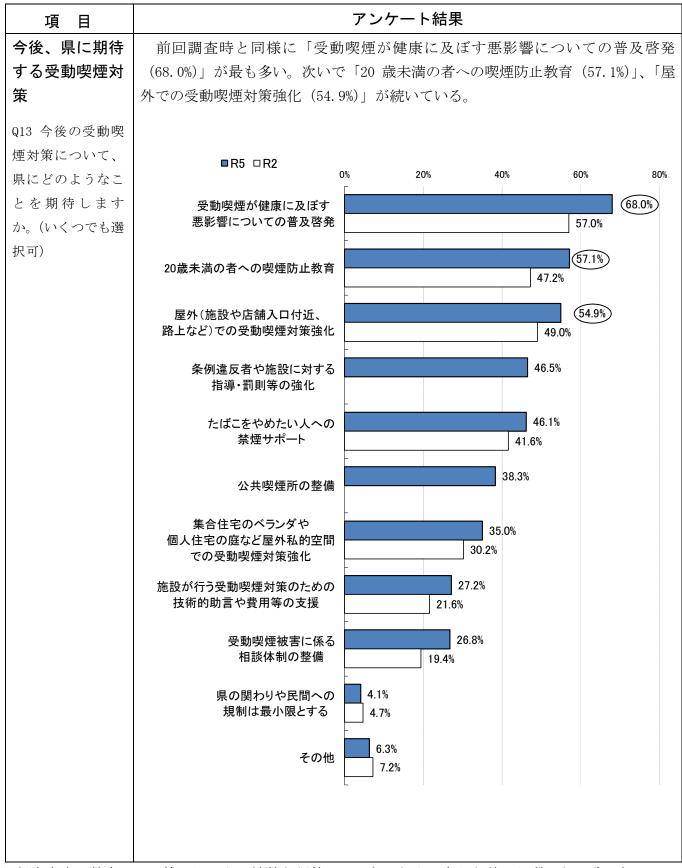
教育を受けた時期は「中学校 (57.7%)」が最も多く、次いで「高等学校 (50.0%)」、「小学校 (32.7%)」が続いている。

全体 • 年代別



教育を受けた時期





※ 報告書中の数字は、四捨五入による端数を調整していないため、内訳と計は必ずしも一致しない。

【 問い合わせ先 】総務部広報広聴課 (TEL078-362-3022)